

19.5.25 道知事選総括集会記録

メモをもとに起こしたものですので不正確な点や遺漏があるかと思いますが、ご理解ください。地域個人名は必要な場合を除き入れず、同様の意見は一つにまとめました。総括案に含まれていたもの、当日配布資料があったもの、地域の活動報告の詳細、事前に ML で資料が流布されているものは割愛しました。この記録は各々の意見の記録であり、集会での決定ではないことをお断りしておきます。

1. 知事選総括

- ・ 政党・連合の態度に野党共闘への熱が感じられなかった
- ・ 本気の共闘を切望する声を政党に伝えるのが市民の会の役割
- ・ 「北海道のようにやれるんだ」ということを作っていく
- ・ 選挙期間中に石川さんが旭川に来たのは一度きりなのに野党と一緒に集会を開くことができなかった。それでは「統一候補」であると伝えられない
- ・ 2017 年には市民と野党の統一候補のために熱くともに闘った。信頼関係ができていたと思っていた。にもかかわらず衆議院選のような熱さを感じられなかった。統一候補の実感がなかった。正直、次の選挙にどうつないでいくのか、不安が残る
- ・ 市民はまだまだ相手にされていないのか
- ・ 党も市民も自力をつけなければならない
- ・ 帯広では 3 月 3 日に急きょ集会を開き立憲、共産、社民、石川後援会代表が出席した。
- ・ 中川氏が石川香織さんに負けた後、自民の立て直しががすごい。農協に対する締め付けが つよく、今回帯広では 1 万票の大差をつけられた。香織さんの闘いをどう再構築するかが課題だ
- ・ 合同選対が作れなかったということだが、今後上田さんには合同選対を作るために汗をかいてほしい
- ・ はじめから政党外の候補者を見つけて出すという形にしないと合同選対は作れない。4 年後に向けて政党外の候補者を見つける努力をしなければならない
- ・ 地域で合同選対が作れなかった
- ・ 「独立宣言」という言葉は強すぎた。説明が必要だった。「自治」という言葉を使った方がよかった
- ・ 政策の中に医療について入れてほしかった。地方を離れる理由は 1 に仕事であるが、2 は医療である
- ・ 北海道をどう作っていくかという政策を研究者や経営者で作っていくことが必要
- ・ 運動主体となる単産の執行部が交替し、選挙の経験がなく大変だ
- ・ 投票率は下落しているが自公は票を維持している
- ・ 知事選の結果を見て「私たちがやっていることに反発があるのか」と悩んだが、自己満足でもいいのでやる。ただし訴え方は工夫が必要だ
- ・ 5 区補選のときも選対の動きがにぶいことにイライラした
- ・ 総括案に総括結果を参院選に結びつける具体的な案がない。たとえば SNS の使い方に問題

があったというのであれば今後どう活用するのか具体的に考えてほしい。事務局に対してというより風の会員全員で実際の選挙で具現化する必要がある

- ・鈴木陣営の SNS の広がり、まず創価学会の婦人部が写メを撮って拡散し組織的に火をつけた。自然発生的ではなかった
- ・ SNS の効果が分からないので、やろうという気になれない
- ・ SNS をなぜやるか — 選挙期間中は SNS しかできなくなるから SNS をやる
- ・ スマホで同時配信を行うツイキャスという方法もある

2. 今後の取組-参院選、衆参同日選挙

- ・ 後援会に市民が参加することも必要
- ・ 参院選の政党・候補予定者との政策協定に農業・地方経済を加えるべきだ
- ・ 消費税を入れるべきだ（複数）
- ・ 北方領土を入れるべきだ
- ・ 安倍は消費税増税延期を理由に（あるいは消費税引き下げを理由に）解散をする可能性がある。消費税についての方針を持たなければ負ける
- ・ 経済についての議論がない
- ・ 反緊縮の勉強会が必要
- ・ 財政出動してでも経済を活性化させるべき（これに対する意見があったが、記録者の知識では理解できずメモができなかった）
- ・ アベノミクスを認めるのか認めないのか
- ・ 野党候補者 3 人は不利（複数）
- ・ 一人は比例に
- ・ 党は党の役割がある。今の段階で誰かを下ろせとは言えない
- ・ 参院選に関して今、野党は党利党略で動いている。本当なら石川さんを立てるべきだが、それはできない状況だ。
- ・ 比例区は統一名簿にすべきだ
- ・ 参院選は結局当落線上の人を応援するしかない
- ・ 旧民進党の 4 者で話し合う段階で市民、共産も共に話しあえる態勢がとれないか。それを実現するだけの力をどうつけてゆくか。
- ・ 基本政策 3 の「できるだけ早期に原発ゼロ社会の実現をめざすこと」の「できるだけ」が入った意味は何か（川原回答—原発ゼロ社会実現の時期を数字で示すと合意に至れず「原発ゼロ」そのものを基本政策にいれることができないため「できるだけ」となっている）
- ・ 取組案最後の「前回の衆議院選挙比例区で共産党現職議員の議席を失ったことの反省を踏まえ、特段の努力をはらいたいと思います」とある。議席を失ったことは残念だったと思うが「特段の努力」とは何か、意味が分からない
- ・ 市民は政党に遠慮しなくていい
- ・ 政党同士、政党と市民が信頼の幅を広げてゆく努力が必要
- ・ 候補者になりうる人物の発掘をしていかななくてはならない